ウ　　直播水稲本田除草剤

|  |
| --- |
|  |

農薬等普及展示(長野県 2019)

（１行空け）

整理番号（全角） 課　題　名（左寄せ）

（１行空け）

農業改良普及センター

(試験場協力試験の場合は試験場名も並記)

（１行空け）

１ 目 的　（設計書の目的を記入する）

２ 設置場所

３ 担当者名　　　農業改良普及センター　　　　　　農家

４ 展示ほ設置方法

(1) ほ場条件

 ① 標高　　　　② 土質(灰色低地、褐色森林、黒ボク)・土性(砂土、砂壌土、壌土、埴壊土、埴土)

 　 ③ 耕土深　　　　　cm　　④ 有機物施用有無 　　　　　　⑤ 腐植の多少

 　 ⑥ 減水深　　　cm／日　　⑦ 平年の雑草の発生状況 (主要雑草名と多少)

 (2) 耕種概要

 ① 品種　　　「　　　　」

 ② 種子予措　　　　　　　　　コーティング資材名とその使用量（できるだけ詳しく記載）

 ③ 耕起、代かき　 ア　耕起日 イ　入水日　　ウ　代かき日

 ④ 播種日　　　　　　　　　　　　　播種量　　　　kg/10a

 (3) 設置状況

 ① 面積、区制 １区　　ａ、　　連制（または無反復）

　　② 区割り見取図

 　　　（－移植水稲本田除草剤－と同じ）

③ 供試薬剤と処理時の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | 散布 | 処理時の水深 | イネの生育状況 | 雑草の発生程度及び葉齢 | 天候等 | 委託会社 |
| 時期 | 量(/10a) |
| (展) | 　後　日(　/　） |  |  |  |  |  | 〇〇（株） |
| (対) |  |  |  |  |  |  |  |

注１ 時期：処理時期（暦日）を記入。例：播種後〇日（○／○）

注２ 雑草の発生程度は主要草種の葉数で示す(例:ノビエ1.5葉)

注３ 展示区を同一ほ場に設置できなかった場合は、各展示区の状況を記す。

注４　フロアブル剤、ジャンボ剤、少量拡散粒剤（豆つぶ剤等）の場合は処理時の藻類、表層剥離の発生状況についても記す。

④ 展示終了後の除草時期、方法　　 時期　 月　 日

　　　　　　　　　　　　　　　 　 方法

５　展示成績

 (1)散布条件の調査

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | 散　　　布　　　方　　　法 | 風向 | 風力 |  |
|  散布方法　　 噴　頭 　スロットル開度　　シャッター開度 |
| (展) |  　　　　　 ○○噴頭 ７／７ 　４／10 | ＮＥ | ０－１ |
| (対) |   |  |  |

 注１ 散布方法：粒剤は動散、散粒器、手まき、畦畔散布、乗用管理機、田植同時

　　　　　　　　フロアブル剤は畦畔散布、水口処理、ほ場内散布

　　　　　　　　ジャンボ剤は投げ込み等を簡潔に記入する。

風力：気象庁風力階級表(ビューフォート風力階級表:参考(3))による

(2) 雑草調査(ｍ²当り) (調査日 月　日　　処理後　日）

　　　以降は－移植水稲本田除草剤－と同じ